

1-2 わたしの夢と希望 (2)

進路の計画

1. 題材設定の理由

中学に入学して1カ月が過ぎ、中学校の生活にもようやく慣れてきた頃である。この時期にあたって、自分の将来の夢や希望について考えさせることは、中学生生活を充実させるためにも大変重要である。

また、この時期の生徒の多くは、将来のことについてただ漠然と「高校に行きたい」という気持ちをもっているだけで、自分を深く見つめたり、将来の目標をもち、それをめざし努力したりすることが、自分の学習を充実させることにつながることに気づいている生徒は少ない。

そこで、将来の夢や目標をもち、それに向かって努力することの大切さを理解させ、自分の学習や生活をさらに充実させていこうとする意欲を高めたい。

2. 指導のねらい

将来の夢や目標をもち、それに向かって努力することが自分の中学生生活を充実させることにつながることを理解させ、その実現に向けてどのような努力をしていけばよいのか考えさせる。

3. 指導計画 (全2時間)

事前	・P.7の④に全員記入させ、学級の結果を表やグラフにまとめておく。
第1時	・夢や目標をもつことの大切さを理解し、それをめざし努力しようとする意欲を高める。
本時	・夢や目標を実現するためには、どのような努力をしていく必要があるのか考えさせる。
事後	・P.9の記入事項を確認して、事後の個別指導を行う。

<説話例>

「玉磨かざれば光りなし、光りなきを石瓦（せきが）という」

出典：『実語教』（平安時代末期）

「玉磨かざれば光りなし、光りなきを石瓦（せきが）という」ということわざがあります。高価な宝石も一生懸命磨かなければ、光のない石瓦（いしかわら）に等しい。すばらしい素質や才能、可能性をもっている、懸命に努力し、自分を錬磨していかなければその真価を発揮することはできない、といったとえです。この間の進路の学習で「夢や目標をもち、それに向かって努力することを大切にしましょう。」ということを知りました。努力というのは言葉で言うのは簡単ですが、自分の欲求に流されない強い意志が必要ですので、苦痛が伴います。

見たいテレビも我慢して、テスト勉強に邁進した、そんな経験もみなさんにはあるでしょう。これが努力というもの的一端です。しかし、努力というものは、継続していかなければ自分の力にもなりませんし、夢や目標も達成することはできません。せっかくすばらしい能力や可能性をもっている、手を抜いて努力を怠っていれば自分の夢や希望も実現できるはずはないのです。まさに「玉磨かざれば光りなし、光りなきを石瓦という」です。自分をじっくり見つめ、夢や希望を達成するためにやった方がよいと考えることはどんどんやっていくのです。「天才は有限、努力は無限」です。

君たちにはすばらしい将来、輝ける未来と可能性があります。自分の人生に夢や目標をもち、ねばり強く努力しながらこれからの中学生生活を充実させていきましょう。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・P.7の④の結果をもとに、感想を発表し合い、努力している生徒の姿勢を学ぼうという気持ちをもつ。 ・夢や希望の実現のために、努力が必要なこと気づく。	◎P.7の④の学級の結果を表やグラフを見て、気がついたことや感想を発表する。 ・〇〇が多くておどろいた。 ・いろいろ職業を考えているんだと思った。 ・なりたい理由がはっきりしてすごい。	・P.7④の結果を表やグラフにして提示してもよい。 ・軽く触れる程度にし、深い追求はしない。	・P.7④の結果を表やグラフにしたものの
	課題：夢や希望の実現のためには、どのような努力が必要だろうか。			
中心の活動	・P.8①のA子さんの作文を読み、夢や希望の実現のためにどのような努力が必要なのか考える。 ・自分を見つめ、自分自身の努力すべき点を見つけることができる。	◎A子さんの作文を読む。 ◎A子さんの作文を読んで、分かったことや気がついたことをP.9の②に記入する。 ◎A子さんの作文で分かったことや気づいたことを発表する。 ・努力すべき点を考えている。 ・将来の夢や、それを選んだ理由がはっきりしている。 ・A子さんは具体的な仕事の内容まで調べている。 ・勉強だけでなく、他にも努力しなくてはいけないことがわかっていてすごい。 ◎P.9の③に記入する。	・A子さんの作文から、進路の目標をしっかりとつこと大切さと、自分を見つめ具体的に努力することの大切さを理解させる。 ・机間指導で現在の生活や学習姿勢を振り返らせ、単なる理想論にならないように助言する。 ・この段階では夢や希望をもてない生徒がいると予想される。個別指導で本人の興味・関心を広げて夢をもたせる。	・P.8①のA子さんの作文 ・P.9③
まとめの活動	・各自の希望実現に向けて、自己の努力の方向が理解でき、進路計画の重要性に気づく。	◎数名の生徒が自分の努力点について発表する。 ・1日2時間学習を継続して力をつける。 ・部活動を頑張り体力をつける。 ・目標とする仕事の内容について、家族に聞いたりして今から調べていきたい。 ・夢の実現のために、特に英語などの語学を中心に頑張りたい。 ◎本時の授業の感想についてまとめる。	・発表した生徒の内容を評価しながら、聞いている生徒にも書いた内容の見直しをさせる。 ・強い体力・精神力づくりの面での感想も「その他」の中でしっかりとおさえ、大切に気づかせる。 ・努力することを明確にするとともに進路計画の大切さについても気づかせる。	・P.9③